取扱説明書

自動食器洗い機

G1170 SCVi

事故や製品の破損を防ぐために、本機の据え付け前、および初めてお使いになる前に、この取扱説明と据え付け方法を必ずお読みください。

M.-Nr. 06 731 920

目次

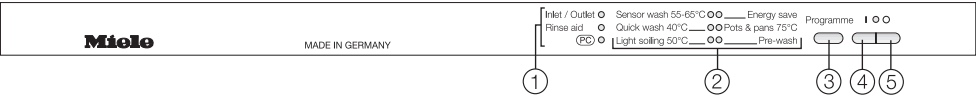
目次

目次

本機全体図

① 上段スプレーアーム
② カトラリートレイ
③ 上段バスケット
④ 中段スプレーアーム
⑤ 乾燥時の給排気口
⑥ 下段スプレーアーム
⑦ 庫内フィルター
⑧ 銘板シール
⑨ 乾燥仕上剤投入口
⑩ 洗剤投入口（本洗い用・予備洗い用）
⑪ 塩コンテナ ＊日本仕様では使用せず

各部の名称

操作パネル

①トラブルチェックランプ

② プログラム進行表示ランプ

③ プログラムセレクタースイッチ

④ ランプ付き電源スイッチ（ON） I

⑤ 電源スイッチ（OFF） O

安全上のご注意

表　示	表　示　の　意　味
警　告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注　意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が中程度の傷害を負う可能性、もしくは物的損害の発生が想定される内容を示します。

■ 重傷とは、失明、けが、やけど（高温、低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、及び治療に入院・長期の通院を要するものを言います。

■ 中程度の損傷とは、治療に入院・長期の通院を要しないが、やけど、感電などを指し、物的損害とは、財産の破損及び機器の損傷にかかわる拡大損害を指します。

ここに示した注意事項は製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するため色々な絵表示を使用しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 強制／指示

 潜在的な危険・警告・注意

 感電注意

 機器に損害を与える可能性のある場合

 発火注意

 高温注意

 分解禁止

 電源接続に関する注意

 水場、湿気の多い場所での使用禁止

 禁止行為

 必ずアース線を接続

 破裂注意

 接触禁止

本機は、現行の安全基準に適合しています。ただし、不適切に使用した場合、人体への危害および物的損害をもたらすことがあります。事故や製品の破損を防ぐために、本機を初めてお使いになる前に、必ず取扱説明書をよくお読みください。この説明書には、安全、使用方法、およびメンテナンスに関する重要な情報が記載されています。本書は大切に保管し、本機を譲渡する場合は必ず本書を添付してください。

正しい使用方法

この食器洗い機は、ご家庭の食器類および小物類を洗浄する、家庭用専用機ですので、業務用として使用しないでください。設計された目的以外に使用したり、本機に改変や改造を加えることは許可されておらず、また傷害の原因となることがあります。本機の誤った使い方による損傷については、製造者責任は負いかねます。

安全上のご注意

警　告

輸送

引っ越しなどにより、食器洗い機を移動する必要が生じた場合は、次のことに注意してください。

– 食器洗い機を空にします。

– ホース、電源コード、カトラリーバスケット、下段バスケットなどの固定されていない部品を固定します。

– 食器洗い機は、必ずまっすぐに立てた状態で輸送します。

受け渡し

本機を設定する前に、目で見てわかる外傷がないかどうか確認します。どんな状況においても、損傷した製品は使用しないでください。
損傷した製品は、危険な場合があります。

梱包材は、必ずリサイクルしてください。

設置・施行

食器洗い機は、設置施行手順書に従って、設置及び接続する必要があります。

仕様に表示された電圧でご使用ください。

電気工事はすべて電気工事設備技術基準に準じて行ってください。

本機は、必ず専用コンセントをご使用ください（単相 200V、20A、アース付き）。

警　告

電気コンセントは、食器洗い機の設置後も簡単に手が届くところにあり、いつでも電源から引き抜くことができる必要があります（「電源接続」の項を参照）。

食器洗い機の後ろには、電気コンセントがないようにする必要があります。食器洗い機がプラグを押した場合、過熱や火災の危険があります。

本機は、凍結して破損する恐れのある場所には設置しないでください。

床面強度が十分であり、できるだけ湿気の少ない場所に水平に設置してください。

本機は、電気クッカーの下に据え付けないでください。電気クッカーが発することのある高い放射温度によって、食器洗い機が損傷することがあります。同じ理由で、直火やヒーターのように熱を発する他の器具のそばに据え付けないでください。

ビルトインする際に、左右にしっかり固定されたワークトップの下に据え付けて安定させてください。

据え付けが完全に終了するまで、食器洗い機は電源に接続しないでください。

本機を接続する前に、銘板シールの接続データ（定格電圧と接続負荷）が、電源と一致することを確認してください。
不確かな場合は、資格のある電気工事事業者に相談してください。

⚠ 警　告

本機の電気系統についての安全が保障されるためには、有効な接地（アース）機構と本機との間に、導通が確保されていなければなりません。これは製品を安全にお使いいただくための基本条件であり、この条件が満たされているかどうかを定期的にチェックすることが最も重要です。何らかの疑いがある場合は、資格のある電気工事事業者が家屋内の電気配線システムを検査する必要があります。不適切な接地工事による問題（感電事故など）は、保証対象外となります。

本機は、船舶への据え付け、およびトレーラーハウスや航空機などの移動性の環境での据え付けを考慮して設計されたものではありません。ただし、適切な資格を持つ専門技師による危険性評価で問題なしと判断された場合は、このような環境に据え付けても差し支えない場合があります。

損傷した製品は、危険な場合があります。電源のスイッチを切り、ミーレの販売代理店、またはミーレの「ご相談窓口」にご連絡ください。

給水用のプラスチック製ハウジングには、電機部品が含まれています。したがって、ハウジングは水につけないでください。

給水ホースには、電気の流れている電線があります。給水ホースは、長すぎる場合も切らないでください。

⚠ 警　告

排水ホースをしっかりと固定してください。ホースから流れ出る水の力でホースが排水口から抜けないようにしてください。水浸しになる恐れがあります。

使用後は必ず止水栓を止めてください。

本機を、延長コードで電源と接続しないでください。延長コードを使用した場合、本製品の安全性は保証されません（過熱などの恐れがあります）。

使い方

食器洗い機内で溶剤を使用しないでください。爆発する恐れがあります。

食器洗い機用洗剤を吸い込んだり、飲み込んだりしないでください。食器洗い機用洗剤には、腐食性や刺激性のある成分が含まれています。飲み込んだ場合、鼻や口、喉に炎症を起こしたり、呼吸ができなくなることがあります。洗剤を飲み込んだり、吸い込んだ場合は、すみやかに医師に相談してください。

必要な場合以外は、ドアを開けたままにせず、しっかりと閉めてください。つまずく可能性があります。

開けたドアに腰をかけたり、よりかからないでください。食器洗い機が傾いて損傷したり、ケガをする恐れがあります。

安全上のご注意

警　告

家庭用の食器洗い機専用の洗剤および乾燥仕上剤のみを使用してください。
食器用洗剤は使用しないでください。

本機の中の水は飲まないでください。

長期間ご使用にならない時は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください（絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります）。

カトラリーバスケットの付属する製品の場合、小物類の柄を下にしてバスケットに入れると、より効果的に洗浄および乾燥できます。ただし、ケガを防止するために、ナイフやフォークなどは柄を上にして入れてください。

使い捨てのプラスチック容器や、プラスチック製の小物類や食器類など、熱水での洗浄に耐えられないプラスチック製品は、食器洗い機で洗わないでください。食器洗い機内の高温状態により、溶けたり、形が崩れることがあります。

警　告

お子様やお年寄りに対する注意

本機は玩具ではありません。ケガや事故防止のため、お子様が食器洗い機の中やそばで遊んだり、操作することのないようご注意ください。お子様が遊んで食器洗い機の中に閉じ込められる恐れもあります。

お年寄りがご使用になる場合には、十分にご注意ください。

洗剤はお子様の手の届かないところに保管してください。食器洗い機用洗剤には、腐食性や刺激性のある成分が含まれています。飲み込んだ場合、口や鼻、喉に炎症を起こしたり、呼吸ができなくなることがあります。ドアを開けているときは、お子様が食器洗い機に近づかないようにしてください。庫内に洗剤が残っている可能性があります。お子様が洗剤を飲み込んだり、吸い込んだ場合は、すみやかに医師に相談してください。

⚠ 警　告

本機を使用する前に

食器洗い機専用の乾燥仕上げ剤を使用してください。

乾燥仕上げ剤投入口に洗剤等を入れないでください。乾燥仕上げ剤タンクの故障や破損の原因となります。

食器洗い機専用の洗剤をご使用ください。台所用中性洗剤は絶対に使わないでください。

商用又は工業用の洗剤を使用しないでください。材質を痛めたり、危険な化学反応が起こる危険性があります。

● 正しい食器の入れ方

食器は効率よく洗浄水があたるように入れてください。重なり合うときれいになりません。スプレーアームが食器に触れないよう、ご注意ください。

● 十分な量の洗剤を投入する

自動食器洗い機用の洗剤はメーカーや銘柄によって投入量が違います。洗剤容器に書いてある説明をよく読み、十分な量の洗剤を入れてください。洗剤の量が足りないと洗浄効果が大幅に下がります。
またプログラム表もよくお読みください。

⚠ 警　告

● 洗浄プログラムの選択

食器の量、種類、汚れの程度に応じてプログラムを選んでください。
(プログラム表を参照)

● フィルターとスプレーアームのお手入れ

定期的に点検とそうじを心がけましょう。

● ミーレ防水システム

次の条件が満たされた場合、水による損傷から保護します。

– 食器洗い機が正しく設置され、配管工事されていること。

– 食器洗い機が適切にメンテナンスされ、交換が必要な部品が交換されていること。

– 本機を長い間使用しない場合(休暇の間など)は、止水栓が閉められていること。

防水システムは、本機のスイッチが切られている場合も機能します。ただし、本機を電源に接続したままにする必要があります。

安全上のご注意

⚠ 警　告

害虫が発生しやすい地域のある国では、本機とその周辺を清潔な状態に保つように特に注意が必要です。害虫による損傷は、本機の保証対象外となります。

修理とメンテナンス

修理は、必ず国および地域の電気設備基準にしたがって適任な技術者が行わなければなりません。無資格者による修理はたいへん危険です。

お手入れの際には必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。又、濡れた手で抜き差ししないでください。感電やケガをする恐れがあります。

本機を適切に保守し、故障のある部品は純正部品と交換してください。

お手入れの際などに本体各部に水をかけないでください。

修理技術者以外の方は絶対に分解したり、修理、改造は行わないでください。

給水・排水ホースの裂け目、よじれ、へこみ等がある場合は、水漏れが生じる恐れがあります。ホースを定期的点検し、必要であれば、新しいものと交換してください。

動かなくなったり、異常がある場合は事故防止のためすぐに電源プラグを抜いて、お買い求めの販売店に必ず点検・修理を依頼してください。

⚠ 警　告

使用済み器具の廃棄処分

使用済みの食器洗い機を廃棄する場合は、まず使用できないようにします。
電源から外した後、コードを切断し、コードからプラグを切断します。トルクスねじを外してドアロックが機能しないようにし、子供が誤って閉じ込められないようにします。
器具の廃棄に必要な処置を施します。

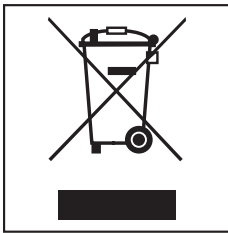
「正しく安全に使うための注意」を守らなかったことによって発生した損傷や故障は、保証対象外となります。

⚠ 警 告

梱包材の廃棄処分

輸送時の保護用の詰物は、廃棄する際に環境への影響が少ない材質を使用しており、リサイクルすることができます。プラスチックの包装や袋は確実に安全に処分し、乳幼児に近づけないでください。窒息する恐れがあります。これらの部材は単に捨てるよりむしろリサイクルに出してください。

使用済み機器の廃棄処分

電子および電気製品や機器には、処理や廃棄方法を誤ると人体や環境に害を及ぼす危険のある材質が含まれている場合があります。これらの材質は、機器が正常に機能するために欠かせないものです。したがって、不要になった機器は家庭ごみとしては出さないでください。

使用済みの機器は、お住まいのごみ収集センターやリサイクルセンターで処分し、処分前の保管中は、お子様への危険がないようにしてください。

主電源からの電気プラグの取り外しや切断は、有資格者が行なってください。誤って使用されることがないよう、プラグは使用できないようにし、電源コードは本体側の根元で切断してください。詳しくは、「安全上のご注意」をお読みください。

⚠ 警 告

「安全上のご注意」を守らなかったことによって発生した損傷や故障は、保障対象外となります。

エネルギーを節約できる洗い方

この食器洗い機は、水や電気の使用量が少なく、経済性に優れています。次のこつにしたがうことで、製品を最大限に活かすことができます。

■ ご家庭の給水システムが適している場合は、この食器洗い機を給湯に接続して、さらに経済性を高めることができます。たとえば、水をソーラーパネルで温めている場合は、省エネルギーになります。ただし、水を電気で温めている場合は、水道水に接続することをお勧めします。

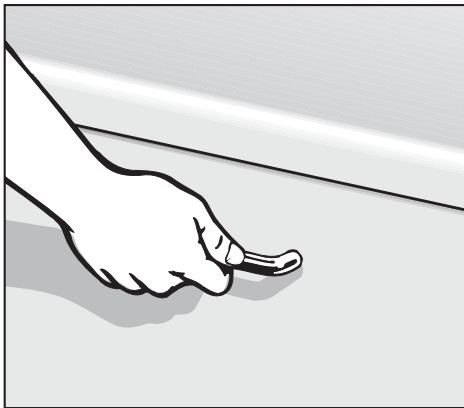
■ 最も経済的に洗うには、バスケットを十分活用し、つめ込みすぎは避けます。

■ 洗う食器の種類と、汚れの程度に適したプログラムを選択します。

■ 省エネルギー洗浄を行うには、"Energy Save" プログラムを選択します。

■ 洗剤の投入量については、洗剤のメーカーによる表示にしたがってください。

■ 粉末または液体洗剤を使用する場合、バスケットに半分しか入れていない場合は、洗剤の使用量を 1/3 減らすことができます。

ドアの開け方

■ ハンドルを引きます。

運転中にドアを開けるとすべての機能が自動的に中断されます。

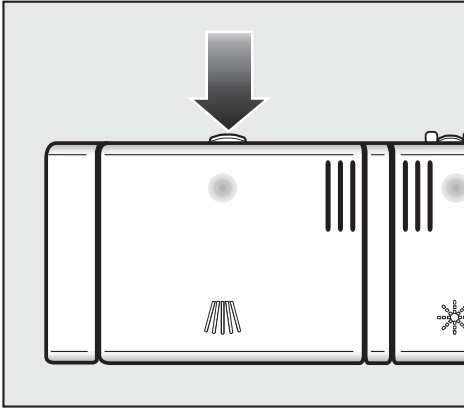
虫が入るのを防ぐ為にも、普段はドアを完全に閉めた状態にしておいてください。

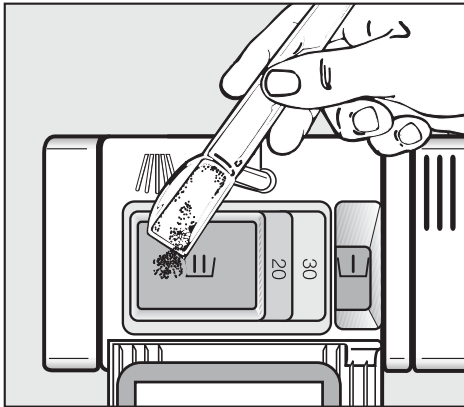
運転中にドアは開けないでください。高温の湯気が出て火傷をすることがあります。

ドアの閉め方

■ バスケットを奥まで押し込んでください。

■ ドアを上方向に持ち上げ、カチッと音して所定の位置に収まるまで押します。

洗剤の入れ方

■ 洗剤投入口の開閉ボタンを押します。
カバーが開きます。

プログラムの終了後、カバーは開いた状態になっています。

■ 洗浄プログラムに応じた洗剤量を投入してください。予備洗いはⅠへ、本洗いはⅡへ入れてください。

投入口Ⅰ … 最大 10 mℓ投入可能
投入口Ⅱ … 最大 50 mℓ投入可能
《IIのボックスには目安の3段階(20、30mℓ)の表示があります。この印は、ドアを水平に開いた状態で、約20 mℓまたは30 mℓの高さを示します。》

■ 洗剤投入口のカバーを閉じます。

洗剤はプログラム始動の前に投入口に毎回補給します。(「PRE-WASH」の場合を除く)適正な量を投入してください。

洗剤の効果は種類によって違うので、本説明書の指定量よりも多くの洗剤を必要とする場合もあります。

! 家庭用自動食器洗い機専用の洗剤を使ってください。

! 自動食器洗い機の洗剤には、腐食性や刺激性のある成分が含まれていますので、洗剤が口に入った時は、口や喉に炎症を起こすことがあります。ドアが開いている時には、子供を本機に近づけないようにしてください。

! 洗剤は必ずフタを密閉し、乾燥した場所で保存してください。

初めてお使いになる前に

洗剤

⚠ 家庭用の食器洗い機専用の洗剤のみを使用してください。食器用洗剤は使用しないでください。

■ 従来からある粉末洗剤、タブレット、または液体の食器洗い機用洗剤を使用できます。パッケージに記載されている使用量を参照してください。

■ 粉末または液体洗剤を洗剤投入口に入れます。

■ タブレット洗剤は、メーカーが推奨している場合、投入口 II のみに入れてください。メーカーがタブレットをカトラリーバスケットに入れることを推奨している場合は、したがわないでください。
代わりに、タブレットをドアの内側に置くか、または庫内に直接入れて、タブレットが十分に溶けるようにします。

■ 「Quick」プログラムでは、タブレット洗剤は使用しないでください。タブレットが十分に溶けません。

推奨量の洗剤が投入されないと、きれいに洗浄できないことがあります。

⚠ ヨーロッパでは一般的な「2 in 1」タブレット（乾燥仕上剤入り洗剤）、または「3 in 1」タブレット*（乾燥仕上剤及び塩代用品入り洗剤）ですが、日本ではまだ同種のタブレットが市場に無いため入手できません。
* 日本では一般的に軟水のため、このタブレットは使用できません。

最近日本でも固形タイプの食器洗い乾燥機専用洗剤が販売されていますが、このタイプは分解酵素及び活性成分による洗浄効果だけで、乾燥仕上剤は含まれておりません。したがってこのタブレット専用機能は使用できませんので、Tab スイッチは押さないでください。乾燥仕上剤が必要になります（P.17 参照）。

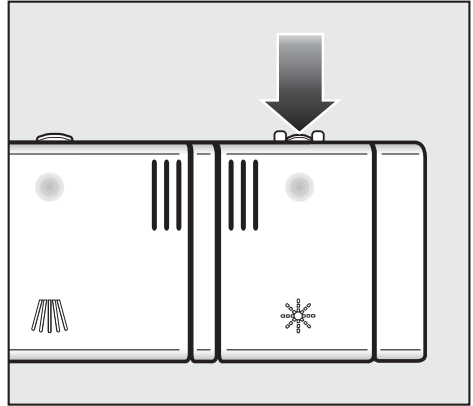
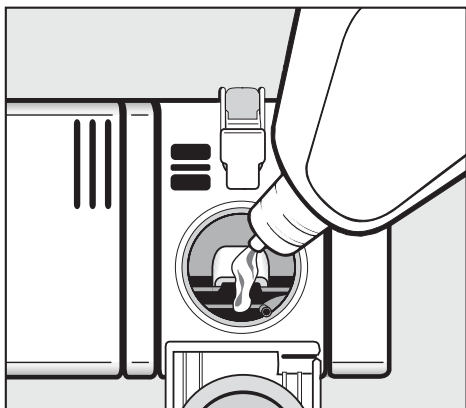
⚠ 粉末洗剤を吸い込んだり、食器洗い機用洗剤を飲み込んだりしないでください。食器洗い機用洗剤には、腐食性や刺激性のある成分が含まれています。飲み込んだ場合、鼻や口、喉に炎症を起こしたり、呼吸ができなくなることがあります。洗剤を飲み込んだり、吸い込んだ場合は、すみやかに医師に相談してください。洗剤などの家庭用化学薬品は、常にお子様の手の届かない場所に保管してください。ドアを開けているときは、お子様が食器洗い機に近づかないようにしてください。
庫内に洗剤が残っている可能性があります。お子様が食器洗い機用洗剤に触れる危険を防ぐためには、プログラムを開始する直前に洗剤を入れ、ドアを閉めて、チャイルドセーフティロックをオンにします（食器洗い機にチャイルドセーフティロックが付いている場合）。

乾燥仕上剤

乾燥仕上剤は、食器の水切れを良くし、水滴のあとが残るのを防ぐために使用をお勧めします。また、洗浄後の食器が速く乾くようになります。乾燥仕上剤は、乾燥仕上剤容器に注ぎます。設定した量が運転毎に自動的に投入されます。

⚠ 不注意から乾燥仕上剤投入口に粉末または液体の食器洗い機用洗剤を入れると、乾燥仕上剤容器に深刻な損傷を与えます。家庭用食器洗い機用の乾燥仕上剤のみを容器に入れてください。

タブレットタイプ（洗剤及び乾燥仕上剤、他が一体となった錠剤）については、乾燥仕上剤を補給する必要はありません。

乾燥仕上剤の補給

■ 乾燥仕上剤投入口のフタの上にあるボタンを矢印の方向に押すとカバーが開きます。

■ 乾燥仕上剤は、必ず開口部から見えるまで補給します。

乾燥仕上剤容器の容量は、約110 mlです。

■ カチッという音がして所定の位置に収まるまで、カバーをしっかりと閉めます。きちんと閉めないと、プログラムの実行中に水が乾燥仕上剤容器入ることがあります。

■ こぼれた乾燥仕上剤を拭き取ります。
次回プログラムを実行したときに、アワが出すぎるのを防ぐことができます。

乾燥仕上剤ランプ

"Rinse aid" が点灯した場合、乾燥仕上剤容器にはプログラムを2、3回実行できる乾燥仕上剤しか残っていません。

■ 乾燥仕上剤は早めに補給してください。

"Rinse aid"ランプが点灯するまで乾燥仕上剤を補給しないでください。

乾燥仕上剤の投入量の設定

乾燥仕上剤の投入量を調整して、最良の結果を得ることができます。

乾燥仕上剤の投入量は、約0～6 mlに設定できます。工場出荷時には、約3 mlに設定されています。

陶器類やガラス食器に水滴のあとが残る場合は、

■ 乾燥仕上剤の投入量を増やしてください。

陶器類やガラス食器が曇ったり、汚れが出た場合は、

■ 乾燥仕上剤の投入量を減らしてください。

■ 電源スイッチ（OFF）○ を使用して、食器洗い機のスイッチを切ります。

■ プログラムセレクタースイッチを押し、押したままで、電源スイッチ（ON）| を使用し食器洗い機のスイッチを入れます。右側下部のプログラムランプ（「Pre-wash」）がつくまで、プログラムセレクタースイッチを少なくとも4秒間押したままにします。

ランプがつかない場合は、手順をもう一度始めから実行します。

■ プログラムセレクタースイッチを短く3回押します。

"Inlet/Outlet" 確認ランプは、間隔をおいて短く3回点滅します。

右側上部のプログラム（Programme）ランプ（軽い汚れ）が、間隔をおいて短く3回点滅します。これは、プログラムごとに、約3 mlの乾燥仕上剤が使用されることを意味します（工場出荷時のデフォルト設定）。

右側上部のプログラムランプが点滅する回数で、設定されている乾燥仕上剤の投入量がわかります（表参照）。

乾燥仕上剤 単位 ml	点滅回数
0	–
1	1回
2	2回
3	**3回**
4	4回
5	5回
6	6回

■ 右側上部のプラグラムランプがつくまで、プログラムセレクタースイッチを少なくとも1秒間押します。

■ 希望の乾燥仕上剤の投入量に相当する点滅回数を選択するには、プログラムセレクタースイッチを短く押します。ボタンを押すごとに、レベルが1つ上がります。

プログラムした乾燥仕上剤の投入量がメモリに保存されます。

■ 電源スイッチ（OFF）○ を使用して、食器洗い機のスイッチを切ります。

食器の入れ方

注意点

食器の残菜を落とします。

流水で汚れを洗い落とす必要はありません。

> ⚠ **食器洗い機では、灰、砂、ワックス、潤滑油、またはペンキで汚れたものを洗わないでください。灰は溶けず、庫内にまき散らされます。ワックス、砂、潤滑油、およびペンキは、食器洗い機に損傷を与えます。**

食器類は、バスケット内のどの場所にも入れられますが、次の注意点に従うとより効果的です。

– 食器類や小物類を重ねた状態で入れないでください。

– 食器類は洗浄効率を良くする為、水がすべての表面にあたるように入れてください。

– すべてのものが安全に置かれていることを確認してください。

– カップ、グラス、ナベなどのくぼんだものは、バスケットに逆さまにして入れてください。

– シャンパングラスなどの背が高く、細くてくぼんだものは、バスケットの中央に置いて、水がよくかかるようにしてください。

– 深さのあるものは、水がしっかりと切れるような角度で置いてください。

– 高すぎたり、バスケットの下からはみ出しているものによって、スプレーアームが回らなくなることがないようにしてください。不確かな場合は、スプレーアームを手で回して自由に動くことをテストしてください。

– バスケットから小さなものが落ちないようにしてください。フタなどの小さなものは、カトラリートレイに入れてください。

> **人参、トマト、ケチャップなど、一部の食品には天然色素が含まれることがあります。食器洗い機内のプラスチック部品は、食器類に付着したこれらの食品が大量に器具内に入った場合、変色することがあります。プラスチック部品の安定性は、変色によって損なわれることはありません。**

– バスケット手前側（洗剤ケース前）に背の高い物（まな板等）をなるべく配置しないようにしてください。

洗ってはいけない食器類:

日常的に使用する食器は、ほとんど食器洗い機で洗えますが、なかには入れるとキズがついたり変色・変形するものもあります。ご注意ください。

◆ 木製や角(つの)製の柄がついたもの

◆ 木製やプラスチック製のマナ板

◆ ニカワ付けしたもの(古いナイフで柄がニカワでつけてあるものなど)

◆ 手作りの工芸品、アンティーク、高価な花瓶、飾りのガラス食器

◆ 銅製品や錫製品

◆ 漆塗りの食器、重箱、金箔入りの食器、木製の食器

◆ 金縁が付いた皿やコーヒーカップ

◆ カットグラスやクリスタルグラス等の高級ガラス食器

◆ 耐熱性表示のないプラスチック製品(溶けたり、形が崩れることがあります)。

◆ 七宝やセラミックの飾りを接着剤でつけたスプーンなど

◆ ひびが入ったり、接着剤で修理した食器

◆ 哺乳瓶の乳首など小さくて袋状のもの

◆ ふきん、スポンジなど

注意

● 銀製品やアルミ製品は変色したり、表面が黒く濁ってくることがあります。

● 硫黄を含む食品に触れた銀器は、変色することがあります。 例えば卵黄、玉ネギ、マヨネーズ、マスタード、豆類、魚、魚の塩水仕込みやマリネなどです。

● うわ薬の上に施した彩色は何回も洗うと色あせすることがあります。

● ガラス製品は何回も洗うと曇りが出ることがあります。デリケートなガラス食器やクリスタルガラスを含むガラス食器は、食器洗い機で洗わないでください。

おすすめするのは：

● デリケートなガラス製品は「必ず一番低い温度」のプログラムで洗って下さい。
曇りがでるのを多少防ぐことができます。

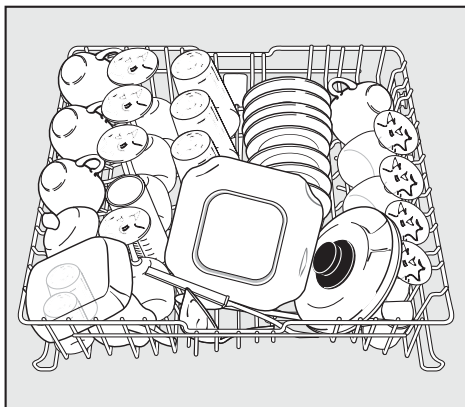
● 新しい食器を買うときは、自動食器洗い機で洗えるかどうか確認してください。

● 特にデリケートなガラス食器は手で洗ってください。

アルミ製部品(例えば、油汚れフィルターなど)は、苛性アルカリまたは工業用クリーナーで洗わないでください。材質を傷めたり、極端な場合は、危険な化学反応を起こすことがあります。適切な洗剤については「洗剤の入れ方」の項を参照してください。

食器の入れ方

上段バスケット

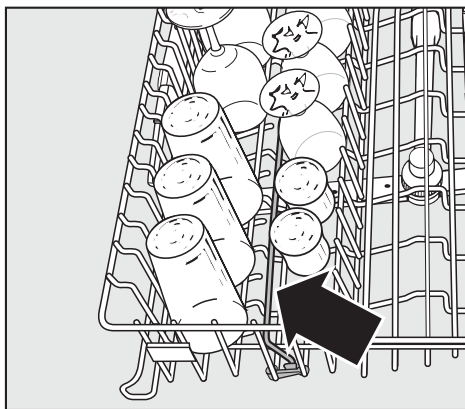
⚠ **安全のために、上段バスケット、中段バスケット及び下段バスケットを所定の位置に取り付けずに、食器洗い機を運転しないでください。**

■ 上段バスケットは、茶碗、カップ、ソーサー、グラス類、デザート皿、小皿及び耐熱性プラスチック製品などの小さくて軽く、デリケートな食器に使用します。浅いナベやキャセロール皿も上段バスケットに入れることができます。

■ スープレードル、ミキシングスプーン、長い包丁などの長さのあるものは、カトラリートレイに入れます。

可倒式カップラック

■ 背の高い食器が入れられるように、ラックを上にあげます。

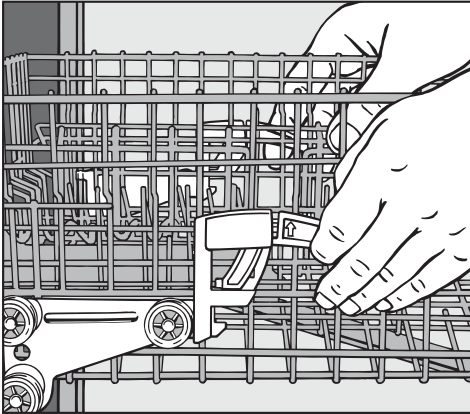
ガイドレール（モデルによって異なります）

グラス類をガイドレールに沿って入れると、プログラムの実行中に動きにくくなります。

■ レールを持ち上げ、グラス類を寄りかからせます。

ガイドレールは、バスケットのまん中に向けて倒すと、食器類を分けたり、取り出しやすくすることができます。

上段バスケットの調節

下段バスケットまたは上段バスケットに背の高い食器を入れるスペースを作るために、上段バスケットは、2cmの間隔で3段階に高さが変えられます。

■ 上段バスケットを引き出します。

■ 上段バスケットの両側にあるレバーを引き上げます。

■ バスケットを希望の高さに調節します。

■ レバーを所定の位置に戻るまでしっかり下げます。

上段バスケットの設定によって、次のサイズの皿を入れることができます。

入れられる食器の直径

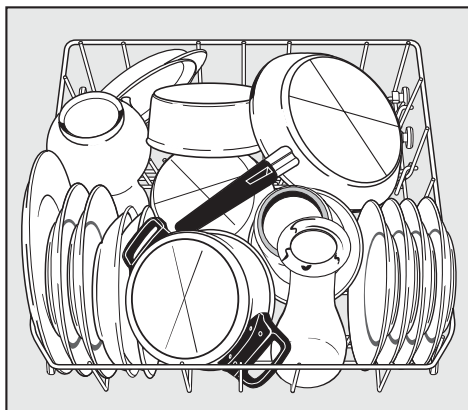
上段バスケットの位置	皿の直径（単位φ cm）	
	上段バスケット	下段バスケット
高	15	31
中	17	29
低	19	27

バスケットの調整は、必ず左右同じ高さにしてください。

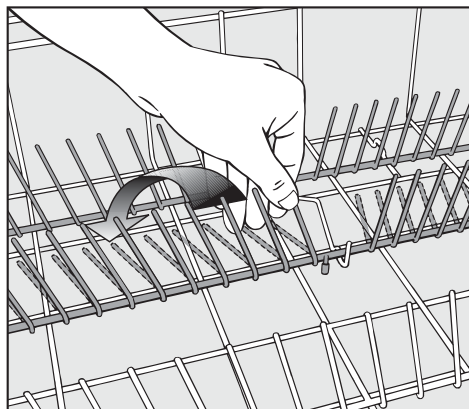
バスケットは、中に食器を入れる前に調整するようにしてください。

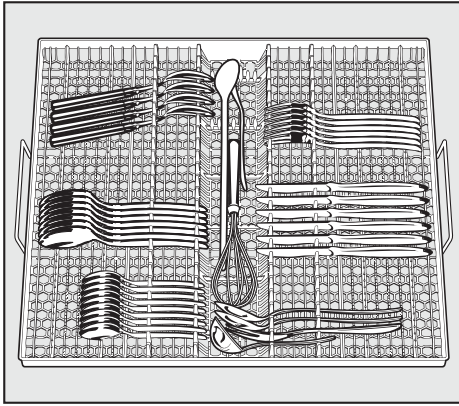
食器の入れ方

下段バスケット

皿、大皿、片手ナベ、ボールなどの大きく重いものを入れます。ソーサーなどの小さい食器も下段バスケットに入れることができます。
下段バスケットには、薄く、デリケートなガラス食器は入れないでください。

カトラリートレイ付き食器洗い機

可倒式ピン

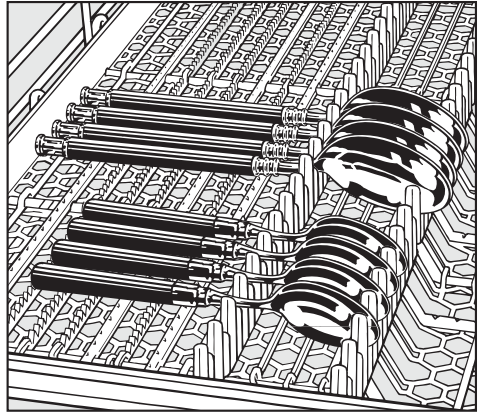
後ろ部分にある可倒式ピンは、深ナベ、平ナベ、盛り皿などの大きなものを入れる場所を作るために、両側とも倒すことができます。

■ 片側の可倒式ピンを持ち上げてから、折りたたみます。続けて、反対側も同じようにします。

カトラリートレイ

■ 小物類を図に示しているようにトレイに入れてください。

小物類を取り出しやすくするには、ナイフ、フォーク、スプーンなどをひとまとまりにして入れます。

スプーンの頭は、水切れがよくなるように、少なくともカトラリートレイの底にある切込みの１つと接触するように入れてください。

大きすぎるもの（たとえば、ケーキスライサー）によって、上段スプレーアームが回らなくなることがないようにしてください。

カトラリートレイのインサートは、取り外し可能です。

スプーンの柄がホルダーの間に収まらない場合は、反対に入れてください。

乾燥仕上剤を使用すると、乾燥効果が良くなります。

操作

本体の電源を入れる

■ 止水栓が閉まっている場合は、開けます。

■ドアを開けます。

■ スプレーアームが無理なく回転するかどうか確認します。

■ 電源スイッチ（ON）**I** を使用して、食器洗い機のスイッチを入れます。

電源スイッチ（ON）ランプ **I** が点灯します。

プログラムの選択

食器の種類と汚れの程度に応じて、プログラムを選択します。

プログラムの種類と使い方の目安については、本書の後に掲載しているプログラム表で説明しています。

プログラム開始

■ プログラムセレクタースイッチを使用して、プログラムを選択します。

選択したプログラムの横のランプが点灯します。

■ドアを閉めます。

プログラムのサイクルが始まります。

プログラム終了

■ ドアを少し開けて、プログラムが終了したことを確認します。

プログラムが終了すると、選択したプログラムの横にあるランプが消えます。

プログラムのランプが点灯したままの場合、プログラムはまだ終了していません。
もう一度ドアを閉めて、プログラムを終了させてください。

これで、食器洗い機を空にできます。

⚠ 食器洗い機の上にある天板の縁が、蒸気によって損傷するのを防ぐには、食器を取り出す準備ができるまでドアを閉めたままにすることをお勧めします。または、食器類が十分に冷めて取り出せるようになるまで、ドアをいっぱいに開けることもできます。ドアを部分的に開けたままにしないでください。

スイッチを切る

プログラムが終了したら、

■ ドアを開けます。

■ 電源スイッチ（OFF）○ を使用して、食器洗い機のスイッチを切ります。

電源スイッチ（OFF）○ を切るまで、食器洗い機は電力を消費し続けます。

休暇などで、食器洗い機を長い間使用しない場合は、止水栓を閉めてください。

食器の取り出し方

皿類が熱いと、壊れたり欠けたりすることが多くなります。 取り出す前に、扱いやすくなるまで皿類が冷めるのを待ちます。

スイッチを切った後にドアを完全に開けると、皿類はより速く冷めます。

まず下段バスケットから取り出し、次に上段バスケットおよびカトラリートレイから取り出します。こうすることによって、上段バスケットおよびカトラリートレイの水滴が、下段バスケットの皿類に落ちるのを防ぐことができます。

プログラムの中断

ドアを開けると、プログラムはただちに中断されます。
再度ドアを閉めると、プログラムは、ドアを開けた前の状態から再開されます。

食器洗い機内の水は高温であることがあります。火傷の恐れがあります。ドアを開けるのは、どうしても必要な場合のみとし、開ける際には細心の注意を払ってください。再度ドアを閉める前に、約20秒間半開きのままにします。こうすることによって、庫内の温度を補正できます。カチッという音がして所定の位置に収まるまで、ドアをしっかりと閉めます。

プログラムの変更

重要：
洗剤投入口のカバーがすでに開いている場合は、プログラムを変更しないでください。

すでに始まっているプログラムを変更するには、次の手順にしたがってください。

■ ドアを開けます。

■ 電源スイッチ（OFF）**O** を押します。

■ 電源スイッチ（ON）**I** を押します。

■ プログラムセレクタースイッチを使用して、プログラムを選択します。

■ ドアを閉めます。

プログラムのサイクルが始まります。

その他の機能

ブザー

プログラムの終了時や問題の発生時には音が鳴ります。

プログラムが終了すると、ブザーが短い間隔で5回鳴ります。このブザーは食器洗い機のスイッチを切るまで、最大1時間鳴り続けます。

問題が発生すると、このブザーは食器洗い機のスイッチを切らない場合や問題を訂正しない場合、最大で2分間鳴り続けます。

工場出荷時には、ブザーは標準で作動するようになっています。
プログラム終了時のブザーは、必要に応じてオフにできます。問題の発生時には、ブザーはオフにしてある場合でも鳴ります。

ブザーのON/OFF設定

■ ドアを開けます。

■ 電源スイッチ（OFF）**O** を使用して、食器洗い機のスイッチを切ります。

■ プログラムセレクタースイッチを押し、押したままで、電源スイッチ（ON）**I** を使用し、食器洗い機のスイッチを入れます。プログラムのランプ（「Pre-wash」）がつくまで、プログラムセレクタースイッチを少なくとも4秒間押したままにします。

ランプがつかない場合は、手順をもう一度始めから実行します。

■ プログラムセレクタースイッチを短く4回押します。

"Inlet/Outlet" 確認ランプが、間隔をおいて短く４回点滅します。

右側上部のプログラムランプ（軽い汚れ）は、プログラム終了時のブザーが作動中かどうかを示します。

– 右側上部のプログラムランプが点滅している場合:ブザーが作動中です。

– 右側上部のプログラムランプが点灯していない場合:ブザーはオフになっています。

■ 設定を変更するには、"Inlet/Outlet"確認ランプがつくまで、プログラムセレクタースイッチを少なくとも１秒間押します。

■ プログラムセレクタースイッチを押します。

設定がメモリに保存されます。

■ 電源スイッチ（OFF）〇 を使用して、食器洗い機のスイッチを切ります。

工場出荷時の初期設定

工場出荷時の初期設定から設定を変更した場合、次の手順にしたがって、工場出荷時の初期設定に戻すことができます。

■ ドアを開けます。

■ 電源スイッチ（OFF）〇 を使用して、食器洗い機のスイッチを切ります。

■ プログラムセレクタースイッチを押し、押したままで、電源スイッチ（ON）I を使用し、食器洗い機のスイッチを入れます。右側下部のプログラムランプ（「Pre-wash」）がつくまで、プログラムセレクタースイッチを少なくとも４秒間押したままにします。

ランプがつかない場合は、手順をもう一度始めから実行します。

■ プログラムセレクタースイッチを短く12回押します。

"Inlet/Outlet" 確認ランプが、間隔をおいて長く１回、短く２回点滅します。

右側上部のランプ（軽い汚れ）(light soiling)は、工場出荷時のデフォルト設定以外の設定が行われているかどうかを示します。

– 右側上部のランプが点滅している場合：設定です。
– 右側上部のランプが点灯していない場合：少なくとも１つの設定が、工場出荷時の初期設定から変更されています。

■ 工場出荷時のデフォルト設定に戻すには、"Inlet/Outlet"確認ランプがつくまで、プログラムセレクタースイッチを少なくとも1秒間押します。

■ プログラムセレクタースイッチを押します。

設定がメモリに保存されます。

■ 電源スイッチ（OFF）〇 を使用して、食器洗い機のスイッチを切ります。

プログラム表

プログラム	使い方の目安
Sensor wash 55－65℃ （センサーウォッシュ 55－65℃）	**普通の汚れ**の食器類用センサー制御プログラム
Quick wash 40℃ （クイックウォッシュ 40℃）	パーティ用食器などの**軽い汚れ**の食器類用 " クイックプログラム "。 グラス用プログラムを含む。タブレット洗剤には不適切。
Light soiling 50℃ （ライトソイリング 50℃）	汚れが乾いてこびりついていない、**軽い汚れから普通の汚れ**の食器類用の、洗浄時間が短いプログラム。 グラス用プログラムを含む。
Energy save [1)] （エネルギーセーブ）	毎日の**普通の汚れ**用の、低温水を使用し、実行時間の長い省エネルギープログラム。グラス用プログラムを含む。
Pots & pans 75℃ （ポット & パン 75℃）	**乾いてこびりついた汚れ、普通の汚れの深ナベ、平ナベ、盛り皿など。** 特に汚れのひどいものには、推奨量より洗剤を 20% 多くして使用。
Pre－wash （予備洗い）	完全なサイクルを実行するまでの間、においの発生を防ぐために食器類をすすぐためのもの。

[1)] エネルギーラベルに対応する標準プログラム

プログラム表

行程							消費			時間	
							電力 kWh		水量	時:分	
予備洗い		本洗い	すすぎ		最終すすぎ	乾燥	水道水との接続（15℃）	給湯との接続（55℃）	リットル	水道水との接続（15℃）	給湯との接続（55℃）
1	2		1	2							
必要に応じて		55°- 65°	必要に応じて		65°		1.3–1.7	0.7–1.0	15–25	1:50–2:40	1:35–2:20
		40°			50°		0.75	0.25	15	0:35	0:22
		55°			65°		1.3	0.9	15	1:30	1:20
		40°–45°			60°		1.1	0.7	15	3:06	2:44
		75°			65°–70°		1.8	1.2	19	2:50	2:30
							0.02	0.02	6	0:12	0:12

表中の値は、EN 50242 にしたがっており、おおよその目安です。結果は、個々の状況および汚れの程度によって変わることがあります。

お掃除とお手入れ

食器洗い機は、定期的（約４か月～半年ごと）に点検してください。定期点検によって、故障や問題を回避することができます。

庫内のお掃除

庫内の大部分は、常に正しい量の洗剤を使用している場合、自動的に掃除されます。

ただし、庫内にミネラル分やカルキあるいは油汚れの付着が見られる場合は、小売販売店で入手できる食器洗い機専用クリーナーで取り除くことができます。

ドアとドアシールのお掃除

■ ドアシールは、湿った布で定期的に拭き、付着した食べ物を取り除いてください。

■ 食器洗い機に食器類を入れているときに、食べ物や飲み物の残りかすが食器洗い機のドアの両側に落ちることがあります。これらの面は庫外にあるため、スプレーアームの水がかかりません。これらの面が汚れた場合は、ドアを閉める前に拭き取ってください。

操作パネルのお掃除

⚠ 研磨剤入りクリーナー、ガラス磨きクリーナー、万能クリーナーを使用しないでください。クリーナーに含まれる化学成分によって、表面に深刻な損傷が生じる場合があります。

■ これは湿らせた布だけで拭きます。

ドア前面のお掃除

⚠ アンモニアやシンナーが入ったクリーナーは使用しないでください。表面の組成に損傷を与える場合があります。

前面の材質の種類に適したクリーナーを使用してお掃除してください。メーカーの説明書にしたがってください。

■ ドア前面が木製の場合は、湿った布で掃除するだけにし、柔らかい布で拭き取ります。

■ ドア前面がステンレス製の場合は、湿った布と少量の食器用洗剤で掃除するか、またはステンレス専用の研磨剤が入っていないクリーナーを使用します。

■ 汚れ（指紋など）を付着しにくくするには、ステンレス専用洗剤をお使い下さい。
（例:「ネオブランク」ミーレ販売店及びミーレジャパンでお買い求めいただけます。）

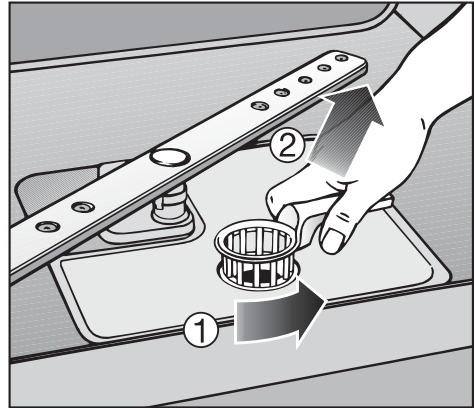
庫内のフィルターのお掃除

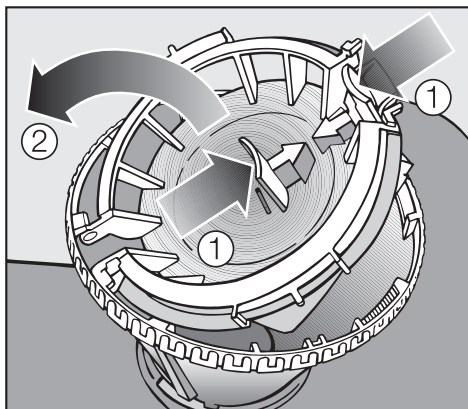
庫内の底にあるトリプルフィルターは、石けん溶液に含まれるゴミやカスを保持して、こうした汚物が循環システムに到達し、スプレーアームを介して庫内に再度入るのを防ぎます。

> ⚠ **すべてのフィルターが所定の位置に取り付けられていない状態では使用しないでください。**

ゴミやカスが蓄積すると、フィルターがつまることがあります。汚れの程度とフィルターの掃除が必要になるまでの時間は、使い方によって異なります。

フィルターの状態を定期的に確認し、必要に応じてお掃除してください。

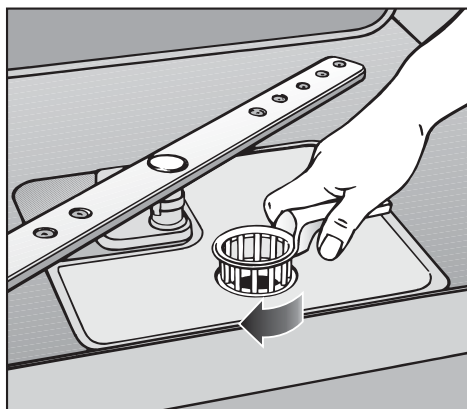
■ 食器洗い機のスイッチを切ります。

■ ハンドルを反時計回りに回して、トリプルフィルターをゆるめます①。

■ トリプルフィルターを持ち上げて、食器洗い機から取り出します②。ごみやかすを取り除き、流水でフィルターをよくすすぎます。必要に応じてナイロン製ブラシを使用します（ほとんどのゴミやカスは粗目フィルターに集まります）。

フィルターの内側を掃除するには、カバーを開く必要があります。

■ 図に示しているように、矢印の方向につめを同時に押し①、フィルターを開けます②。

■ すべてのフィルターを流水ですすぎます。

■ つめがかみ合うようにカバーを閉じます。

■ フィルターの目はとても細かいので必要であれば、歯ブラシなどで軽くこすってください。

■ トリプルフィルターを庫内の底に水平になるように戻します。

■ ハンドルを時計回りに回して、トリプルフィルターを所定の位置にロックします。

⚠ **トリプルフィルターを取り付ける際は、所定の位置に正しく固定されていることを確認してください。正しく取り付けないと、ゴミやカスが循環システムに入り、つまりを引き起こすことがあります。**

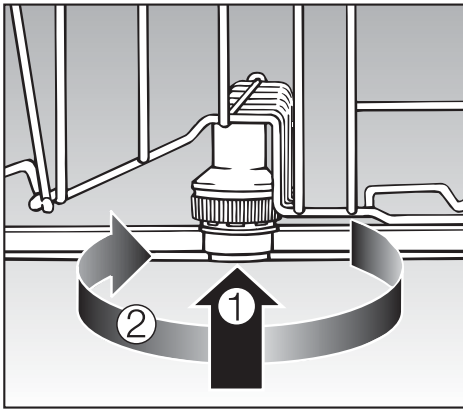
スプレーアームのお掃除

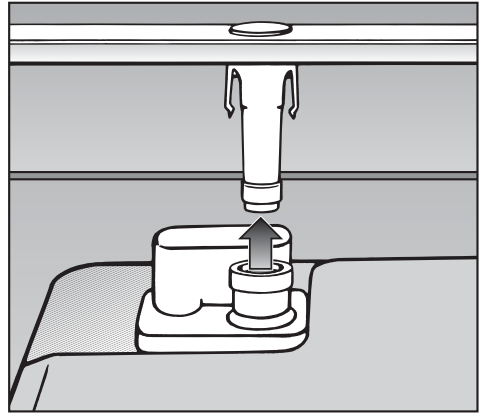
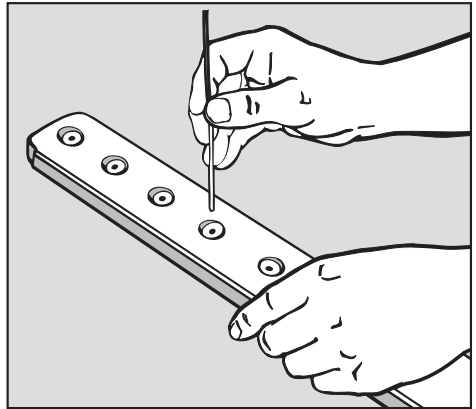
スプレーアームの噴水口や軸受けに食べ物のかすがつまることがあります。スプレーアームは定期的（約４か月～半年ごと）に点検して、お掃除してください。

■ 食器洗い機のスイッチを切ります。

次の要領でスプレーアームを取り外します。

■ カトラリートレイを引き出します（食器洗い機にカトラリートレイが備え付けられている場合）。

■ 上段スプレーアームを内側の歯止めがかみ合うまで押し上げます。スプレーアームを回して外します。

■ 中段スプレーアームを歯止めがかみ合うまで押し上げます①。スプレーアームを回して外します②。

■ 下段バスケットを引き出します。

■ 下段スプレーアームを上にしっかりと持ち上げて外します。

■ 先のとがったもので食べ物のかすをスプレーアームの噴水口に押し込みます。

■ 流水でよくすすぎます。

■ スプレーアームを元に戻し、自由に回るかどうかを確認します。

こんなとき、どうしたらいい?

次のガイドを活用すると、小さな問題はミーレコールセンターに問い合わせずに簡単に解決する場合があります。

次のガイドは、問題の原因を見つけ、解決するのに役立ちます。ただし、次のことに留意してください。

⚠ **修理は、必ず国および地域の電気設備基準にしたがって訓練を受けた有資格者が行わなければなりません。無資格者による修理や不適切な修理は、事故や器具の損傷を引き起こす可能性があります。**

問題		
問題	**考えられる原因**	**対策**
本機が起動しない。	ドアがきちんと閉まっていません。	ドアをしっかりと閉めてください。
	本機の電源プラグが入っていません。	プラグを差し込みます。
	ヒューズに欠陥があるか、または遮断されています。	ヒューズを設定し直すか、または交換します。
	本機のスイッチが入っていません。	電源スイッチ(ON) **I** を押して、プログラムを選択してください。
プログラムの実行中に食器洗い機が停止する。	ヒューズに欠陥があるか、または遮断されています。	ヒューズを設定し直すか、または交換します。

問題	考えられる原因	対応策
ブザーが鳴る。 ドアが開いていると、すべてのプログラムランプが点滅する。	技術的な障害が発生している可能性があります。	ー 電源スイッチ（ON/OFF）〇 を使用して、食器洗い機のスイッチを切ります。 数秒間待った後、 ー 食器洗い機のスイッチを再度入れます。 ー プログラムセレクタースイッチを使用して、プログラムを選択します。 ードアを閉じます。 表示ランプが再度点滅する発生しています。 ー ミーレコールセンターにご連絡ください。
ドアを開いているときにも排水ポンプが機能する。	防水システムが反応しました。	ー 止水栓を閉めます。 ー ミーレコールセンターにご連絡ください。

こんなとき、どうしたらいい?

食器洗い機の給水 / 排水が行われない。		
問題	**考えられる原因**	**対応策**
プログラムを開始するとすぐに食器洗い機が停止する。ブザーが鳴る。ドアが開いていると、"Inlet/Outlet" 確認ランプが点滅する。	止水栓が閉まっています。	ー 止水栓を完全に開きます。
プログラムの実行中に食器洗い機が停止する。ブザーが鳴る。ドアが開いていると、"Inlet/Outlet" 確認ランプが点滅する。		問題の解決に取りかかる前に、必ず、 ー 電源スイッチ (ON/OFF) ○ を使用して、食器洗い機のスイッチを切ります。 取水口の水圧が 100 kPa (1 バール) よりも低くなっています。 専門家の助言を仰いでください。
	取水が制限されています。	ー 止水栓を完全に開きます。 ー 給水フィルターを掃除します。(「こんなとき、どうしたらいい?」を参照)。 ー 取水口の水圧が 100 kPa (1 バール) よりも低くなっています。 専門家の助言を仰いでください。
	排水が制限されているため、プログラムの終了時に水が庫内に残ります。	ートリプルフィルターを掃除します。「お掃除とお手入れ」を参照)。 ー 排ポンプを掃除します。(「こんなとき、どうしたらいい?」を参照)。 ー 逆止弁を掃除します。(「こんなとき、どうしたらいい?」を参照)。 ー 排水ホースのよじれを直します。

一般的な問題		
問題	**考えられる原因**	**対応策**
プログラムの終了時に洗剤のかすが投入口に残っている。	洗剤を入れたときに投入口が湿っていました。	洗剤を入れる前に投入口が乾いていることを確認します。
	バスケットの手前に背の高い食器があり、洗剤ケースに水がうまく当たっていない場合があります。	背の高い食器はなるべく奥の方へ並べてください。
洗剤カバーをきちんと閉められない。	洗剤のかすが詰まって、開閉ボタンが引っかからなくなっています。	開閉ボタンの洗剤を取り除きます。
プログラムの終了時に、ドアの内側および庫内の壁に水蒸気の膜がついている。	これは乾燥システムによるもので、故障ではありません。	水蒸気は、しばらくすると消えます。
プログラムの終了時に庫内に水が残っている。		問題の解決に取りかかる前に、必ず、 − 電源スイッチ (ON/OFF) ○ を使用して、食器洗い機のスイッチを切ります。
	庫内のトリプルフィルターがつまっています。	トリプルフィルターを掃除します。「お掃除とお手入れ」の項を参照。
	排水ポンプまたは逆止弁がつまっている可能性があります。	排水ポンプまたは逆止弁を掃除します。「こんなとき、どうしたらいい?」を参照。
	排水ホースがよじれています。	排水ホースのよじれを直します。

こんなとき、どうしたらいい?

使用中の音		
問題	**考えられる原因**	**対策策**
庫内でなにかに当たる音がする。	スプレーアームがバスケット内の食器に当たっています。	プログラムを中断し、スプレーアームのじゃまになっている食器を入れ直します。
庫内でガタガタと音がする。	食器類が庫内でぐらついています。	プログラムを中断し、食器を入れ直します。
送水管でなにかに当たる音がする。	これは、現場に出向いての据え付けや、配管の切断によって起きる場合があります。	食器洗い機の機能には影響しません。不確かな場合は、適正な資格のある水道工事事業者に相談してください。

食器がきれいにならない。		
問題	**考えられる原因**	**対応策**
皿類がきれいにならない	皿類が正しく入れられていません。	「食器の入れ方」の説明を参照。
	プログラムの力が足りませんでした。	より強力なプログラムを選択します。「プログラム表」の項を参照。
	洗剤の量が足りません。	洗剤の量を増やすか、または洗剤を変えてください。
	食器類がスプレーアームの動きを妨げています。	食器類を入れ直して、スプレーアームが自由に回転するようにします。
	庫内の底にあるトリプルフィルターが清潔でないか、または正しく取り付けられていません。このため、スプレーアームの噴水口がつまることがあります。	トリプルフィルターを掃除するか、または正しく置き直します。あるいは両方を行います。スプレーアームの噴水口を掃除します。「お掃除とお手入れ」の項を参照。
	逆止弁が開かれ、つまっています。このため、汚れた水が庫内に逆流しました。	排水ポンプおよび逆止弁を掃除します。「排水ポンプと逆止弁のお掃除」を参照。
ガラス食器および小物類に染みができていて、ガラス食器の表面が青みを帯びて光っている。膜は拭き取ることができる。	乾燥仕上剤の設定投入量が多すぎます。	投入量を減らします。「初めてお使いになる前に」の項を参照。

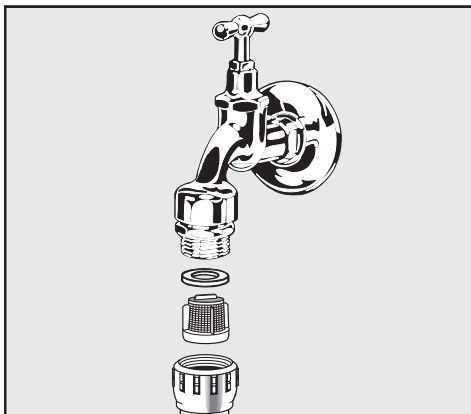
こんなとき、どうしたらいい?

問題	考えられる原因	対応策
皿類、小物類、グラス類が乾いていないか、または まだらになっている。	乾燥仕上剤の量が不十分か、または乾燥仕上剤コンテナが空です。	コンテナに補給します。 投入量を増やします。 または乾燥仕上剤を変えます。 「初めてお使いになる前に」の項を参照。
	食器類を庫内から出したのが早すぎました。	もうしばらく庫内に入れたままにします。「操作」の項を参照。
小物類や食器類に白いかすが残る。ガラス食器が曇る。膜は拭き取ることができる。	乾燥仕上剤の量が足りませんでした。	投入量を増やします。 「初めてお使いになる前に」の項を参照。

問題	考えられる原因	対応策
ガラス食器が茶色または青色がかり、膜を拭き取ることができない。	洗剤が原因と考えられます。	洗剤を変えます。
ガラス食器のつやがなくなり、変色している。膜を拭き取ることができない。	そのガラス食器は、食器洗い機で洗えません（表面が冒されています）。	対応策はありません。 食器洗い機で洗えるガラス食器を購入してください。
紅茶や口紅の染みが完全に落ちていない。	選択したプログラムの洗浄温度が低すぎました。	洗浄温度の高いプログラムを選択します。
	使用している洗剤の漂白効果が弱すぎます。	洗剤を変えます。
プラスチック製品が変色した。	人参、トマト、ケチャップなどの天然色素が原因となることがあります。使用した洗剤の量、またはその洗剤の漂白効果が天然色素には不十分でした。	洗剤の使用量を増やします。 「操作」の項を参照。 変色を元に戻すことはできません。
小物類にさびの染みがついている。	さびが出た小物類は耐食性ではありません。	対応策はありません。 食器洗い機で洗える小物類を購入してください。

給水フィルターのお掃除

給水ホースの弁のねじ接続部には、フィルターが組み込まれています。汚れたフィルターは掃除しないと、庫内に十分な水が流れなくなります。

 給水用のプラスチック製ハウジングには、電機部品が含まれています。ハウジングは、水につけないでください。

フィルターのお掃除:

■ 食器洗い機を電源から外します。コンセントのスイッチを切り、プラグを抜いてください。

■ 止水栓を閉めます。

■ 給水ホースを回して外します。

■ 慎重にシールを取り外します。

■ 先のとがったプライヤーでフィルターを引き離し、流水できれいにすすぎます。

■ フィルターとシールを元に戻します。正しく置いていることを確認します。

■ 給水ホースを止水栓に再度接続します。正しく接続され、ねじが斜めに入っていないことを確認します。

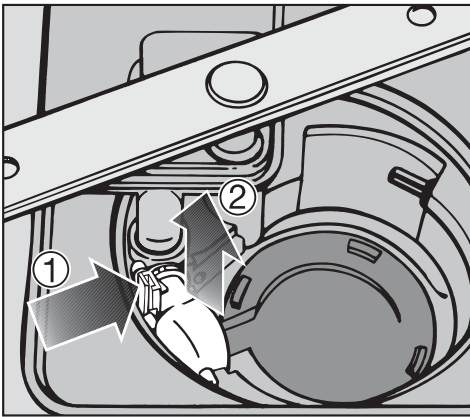
■ 止水栓を少しずつ開いて、水が漏れないかを確認します。水が漏れる場合は、給水ホースがしっかりと締められていないか、または斜めにねじが締められています。外して、給水弁を正しく接続し直します。

排水ポンプと逆止弁のお掃除

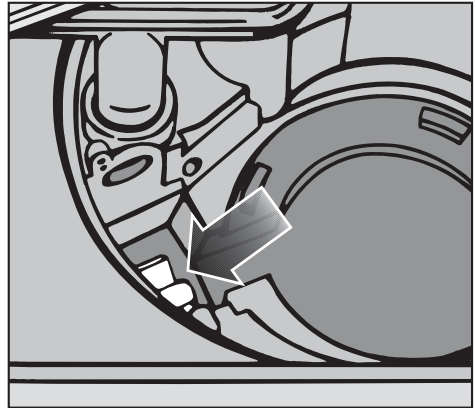
プログラムが終わっても水が抜けないときは、排水ポンプまたは逆止弁がつまっていることが考えられます。これらの掃除は簡単です。
ケガをしないよう、ガラスや骨の破片に注意してください。

■ 食器洗い機を電源から外します。コンセントのスイッチを切り、プラグを抜いてください。

■ 庫内から組合せフィルターを取り外します(「お掃除とお手入れ」、「庫内のフィルターのお掃除」参照)。

■ 適当な容器や道具を使用して、残っている水を庫内からくみ出します。

■ 逆止弁のつめを内側に向かって押します①。

■ 逆止弁を上方向へ取り出し②、流水でよくすすぎます。

■ 逆止弁からすべての異物を取り除きます。

排水ポンプは逆止弁の下にあります(矢印)。

■ 排水ポンプからすべての異物を取り除きます(ガラスや骨の破片は、特に気づきにくく、ケガをしやすいので注意してください)。
排水ポンプのファン(羽根)を手で回して、障害物がないことを確認します。ファンを回すと、少し抵抗を感じます。

■ 逆止弁を慎重に元の位置に戻し、つめで固定します。

⚠ **つめがかみ合ったことを確認します。**

修理についての相談窓口 / 電源

修理

お客様では解決できない問題が生じた場合は、下記までご連絡ください。

– ミーレの販売店

– ミーレ「コールセンター」(連絡先は、裏表紙をご覧ください)

■ 販売店またはミーレ「コールセンター」にお問い合わせになる場合は、ご使用の器具のモデルタイプと番号をお知らせください。
両方とも、ドアの右側にある銘板シールに記載されています。

従業員のトレーニング目的で、お客様からのお電話をモニター録音させていただくことがありますのでご了承ください。

この自動食器洗い機は、単相 200 V、50Hz/60Hz の電源用に設計されています。
家庭の電源が表示とあっているかどうか調べてください。

● 定格消費電力 : 2000 W

● 適用ヒューズ: 20A

● 電源コード : 約 1.7 m

電気工事はすべて電気工事設備技術基準に準じて行ってください。

必ずアースを取り付けてください。(電気工事の有資格者が第 3 種接地工事をするよう法令で定められています。)

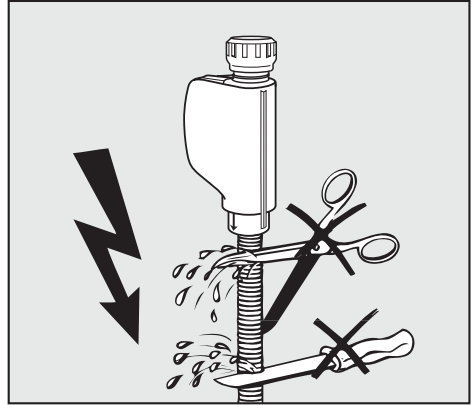
給水の接続

> ⚠ **食器洗い機内の水は、飲用しないでください。**

– 食器洗い機は、水道または60℃以下の給湯に接続できます。給湯が太陽熱など経済的な場合のみに、給湯に接続することをお勧めします。 給湯に接続すると、水道水で実行されるすべてのプログラム行程は、熱水で実行されます。

– 給水ホースは約1.5 mです。別売で、1.5 mのフレキシブルな金属製延長ホース(14000 kPa/140 バールの水圧試験済み)を入手できます。

– 3/4 インチ (19mm)の雄ねじ付き止水栓は、据え付け時に用意する必要があります。

– 水圧 (分岐点での流れの圧力) は、30 ～ 1000 kPa (0.3 ～ 10 バール) の間である必要があります。 水圧が高すぎる場合は、減圧弁を取り付ける必要があります。

> ⚠ **給水ホースには電機部品が含まれるため、決して短くしたり、傷つけたりしないでください (図参照)。**

給排水設備

排水

– 本機の排水システムには逆止弁が付いており、汚水が排水ホースから食器洗い機内へ逆流することを防いでいます。

– 食器洗い機には、約 1.5 m のフレキシブルな排水ホースが付いています。排水ホースの内径は 22 mm です。

– 排水ホースは、ホースを長くする接続部品を使用して延長できます。 排水システムは 4 m以上にしないでください。排水ポンプの最大ヘッドは 1 m です。

– ホースを現場の排水の放流路に直接取り付ける場合は、付属のホースクリップを使用します。

– ホースは、本機の左と右のどちらにも誘導することができます。

– 現場で使用する排水ホース用連結器は、あらゆる幅のホースに適合させることができます。連結器が排水ホースに長く突き出すぎる場合は、短くする必要があります。短くしないと、排水ホースがつまることがあります。

– 排水ホースは切りつめないでください。

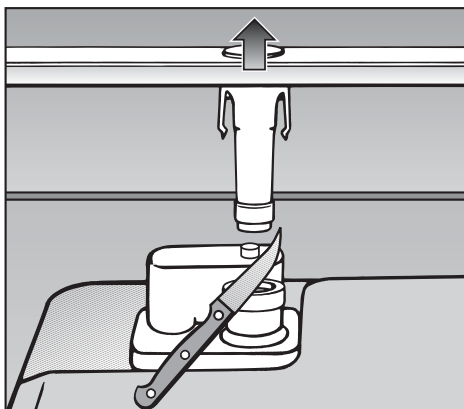
– ホースがよじれていないことを確認してください。また、押しつぶされたり、引っ張られていないことを確認してください。

排水システムの通気孔

ドアを開いた中にある下段バスケットのローラー用誘導路よりも、現場の排水連結器が低い場合、排水システムに通気孔を付ける必要があります。取り付けない場合、プログラムの実行中にサイフォン効果が働いて、本機から水が排水されることがあります。

通気孔を付けるには、

■ 食器洗い機のドアを完全に開けます。

■ 下段スプレーアームを上にしっかりと持ち上げて外します。

■ 庫内にある通気弁の上部を切り取ります。

据え付けのご注意／転居される場合

自動食器洗い機の据え付けは、必ずお買い求めの販売店、または専門工事店にご依頼ください。（ご自分での据え付け、アース線の取り付けは感電、その他の事故の恐れがあり危険です。）

ご転居により、販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前以て販売店にご相談ください。ご転居先でのミーレ取り扱い店を紹介させていただきます。

製品を移動される際は、次の点にご注意ください。

●本機は水平に調節してください。
●アース線を必ず取り付けてください。

"U" 型および "I" 型の自動食器洗い機はそのまま単体として据え付けないでください。

アフターサービスと保証について

保証書について

保証書は、販売店または指定サービス店が所定事項を記入の上お渡しします。その際、必ず「据付日、販売店名、商品引き渡し店名」等が記入されていることを確認の上、記載内容をよくお読みになり、大切に保管してください。

● 保証期間は、据付日から１年間です。

＊ただし、この期間中でも故障の原因や修理の内容によっては有料となる場合があります。詳しくは保証書を良くお読 みください。

修理について

修理、サービスを依頼される前に、P.36「こんなとき、どうしたらいい」をお読みになり、もう一度ご確認ください。ご確認の上、なお異常がある場合はご自分で修理なさらずに、必ず販売店もしくはサービス店にご連絡ください。

● 保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づき、無料あるいは有料で修理いたします。

● 保証期間経過後の修理

修理により製品の機能が維持、回復できる場合には、ご要望により有料で修理いたします。

● 補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後６年です。

＊性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

アフターサービスの依頼について

修理および転居・改築の際の製品移動、その他ご不明な点は、販売店もしくは指定サービス店にご依頼またはお問い合わせください。

● お知らせいただきたい内容

1. 異常の状況
2. 製品名（保証書に記載してあります）
3. 据付日（　　　　　　”　　　　　　）
4. 型　式（　　　　　　”　　　　　　）

＊型式・製造番号はドアを開けたところの「ステッカー」に記載されています。

外形寸法	
高さ	: 805 ～ 870 mn
幅	: 598 mm
奥行:	: 551 mm
質量:	: 52 kg
定格電圧	: 単相 200 V
定格消費電力	: 2000 W
適用ヒューズ	: 20 A
作動水圧	: 0.1 ～ 1.0 Mpa
給湯との接続	: 60 ℃以下
排水ヘッド	: 最大 1m
排水ホースの長さ	: 最大 4 m
電源コード	: 約 1.7 m
最大収容量 (IEC 規格)	: 12 人分

愛情点検

長年ご使用の食器洗い機の点検を！

ご使用の際、
このようなことはありませんか

●スイッチを入れてもときどき運転しない時がある
●運転中に異常な音や振動がする
●本体ケースが変形していたり、異常に熱い
●こげくさい臭いがする
●さわるとビリビリ電気を感じる
●その他の異常や故障がある

●使用を中止してください●

このような場合、事故防止のため、スイッチを切りコンセントから差し込みプラグを抜いて、必ずお求めの販売店に点検・修理をご相談ください。ご自分での修理は危険な場合がありますから、絶対になさらないでください。

ミーレ・ジャパン株式会社

本社： 〒150-0044東京都渋谷区円山町3-6　E・スペースタワー11F

コールセンター：通話料無料 0120-310-229／03-5784-0039

M.-Nr. 06 731 920 / 01
ja-JP